



- 会長／林 裕彦
- 副会長／佐伯克己・瀬戸雅三
- 幹事／太田博久
- R 情報(会報)委員長／上條英雄

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1・Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org・Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2843 回例会 2018 年（平成 30 年）8 月 21 日(火)

点 鐘：林 裕彦 司 会：小口泰史
 斉 唱：それこそロータリー
 ラッキーNo：NO. 31 山岡俊幸
 皆 勤 祝：宮坂宥洪 33 年・山岡俊幸 1 年
 誕 生 祝：濱 俊弘・牛山幸一・北澤洋之介
 小口 隆・高木克彦・山岡俊幸・小林大介



誕生祝

※会場：メモリー

会長挨拶

皆さんこんにちは！信州はお盆を過ぎると朝晩めっきり秋らしく過ごしやすくなりました。お盆はいかが過ごされましたか？8月15日平成最後の73回目の終戦記念日を迎え、全国戦没者追悼式が日本武道館で開かれました。

来年4月末の退位を控えて、今年が最後の出席となる天皇陛下のお言葉も最後となりました。正午から1分間の黙祷。陛下が「戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、過去を顧み、深い反省とともに、今後戦争の惨禍が再び繰り返されぬことを切に願う」と述べられました。私を含め戦後生まれが8割を超え、長きにわたる平和な歳月に慣れてしまった私達は、数多くの戦没者の犠牲の上に築かれた平和と繁栄である事を忘れてはなりません。平和は自然になるものでなく、つくるものだと・・・戦争の悲惨さや平和の尊さを考えさせられた一日でした。

また、今日はこれから第100回全国高校野球選手権大会決勝戦が、秋田県金石農業高校と大阪府大阪桐蔭の間で行われます。今大会は100回大会にふさわしく、連日熱戦が繰り広げられました。全員秋田県出身でベスト8に唯一残った公立の高校と、史上初2度目の春夏連覇に大手の強豪校との対戦です。

皆さんはどちらのチームを応援するのでしょうか？
 いずれにしても、歴史に残るような試合となる事を期待し会長挨拶といたします。

幹事報告

- 59期クラブ計画書および58期クラブ報告書が出来上がりました。矢島直前会長、林直前幹事お疲れ様でした。

- 10月の地区大会のご案内をお配りします。今回は伊那での開催です。多くの皆様の出席をお願いいたします。
- その他、月信8月号と諏訪日赤市民公開がん講演会のご案内をお配りしました。

委員会報告

国際奉仕・奨学事業委員会 埴里RC訪問について、7月末で締め切らせていただきましたが、まだご希望のある方はお知らせください。



卓話「自己紹介・会社紹介」 小林 大介会員

改めまして皆さんこんにちは

今日は新入会員卓話と言うことで、私の自己紹介と会社の説明を少しさせていただきます。

私は昭和50年8月8日に岡谷病院で生まれました。私は4人兄弟の3人目で、上は姉が二人でしたので、まあ俗に言う、待望の男の子ということになります。しかしその日に父親は会合とやらで飲んでいたらしく、私は初めて抱っこされた男の人が叔父さんだったという話を聞いております。父親らしいといえらしいのですが……。そこで私は大介という名前を付けてもらい8月8日、大介、なんと末広がりな感じで、めでたいと思っていたのですが、あまり末広がることもなく独身で43年目を迎えております。

父と姉の影響で物心ついた時から水泳を小学校からは野球をやっておりましたが、どうしても大会の日程が重なる時があり、どちらかということで野球を続けて中学校まで野球をやらせてもらいました。今と違ってその頃の野球部はケツバット当たり前、練習中は水を飲んではいけなとか正露丸ですべての痛みは消えるとか今では信じられないような環境でしたが、いろんな面で鍛えられたかと思うと、今思えば楽しい思い出です。

ちょうど今日、甲子園の決勝が行われます。テレビで観戦していると高校球児の澁瀬としたプレーや挨拶など見ていて気持ちよくさせてくれますし、一つの目標に向かって全員で向かっていく事など教わるのが沢山あるように思います。今年100年を迎える夏の甲子園ですが99年間東北地方の優勝校がないので私としては是非とも金足農業に勝ってほしいと思います。

私は、高校を東海第三に進みまして高校ではちょっと体を壊して過度な運動が止められ弓道部に入りました。吉村さんは高校・部活と直系の先輩になりまして頭が上がらないのですが、最近吉村さんにゴルフではちょこちょこ勝てるようになりましたので、少しは成長したのかなと思います。弓道部に入ったのはやったことのない運動をやってみたくてという好奇心があり、部活動と言う事でしか弓道と言うスポーツはやる機会がないのでは無いかと思い決して綺麗な先輩がいたからと言う理由ではなかったと記憶しております。

そこから熊本の東海大学に進学しまして、情報システム工学科と言うシステムエンジニアの勉強をしながら4年間しっかり芋焼酎の飲み方など九州文化を学んで来ました。

そして就職となるわけですが、今度は北海道に本社がある住宅メーカーの営業職をやっていました。今あるようなお洒落なデザインの住宅ではなく北海道と言う土地柄、暖かい家を作ると言うことに重点に住宅創りをしている会社でした。この会社が体育会系の会社と言いますか、北海道出身の支店長クラスの方々が、俗に言う若いころヤンチャだった方々が多くてオールバックにダブルのスーツが基本路線と言う当初戸惑いがありましたが、しか

しやはり支店長になっているだけあって営業成績が抜群なんですね。その背景にはまず素直だと言うことです。そして住宅に掛ける思い・お客様により良い暖かい住宅を提供するんだ！と熱い思いがすごいです。そして仲間を思いやる熱い思い。同僚の営業がお客様との最後の契約交渉で戻りが遅くても夜中の1時・2時まで支店長命令で全員で待っていたりしたこともあります。ただ、契約できずに帰ってくるとその時間から恐怖の営業会議が始まるわけですが…。

入社当初は毎日電話帳のア行から順に毎日500件の電話営業のあと、飛込営業200件の毎日でした。会社には北海道全域の電話帳が置いてあるわけです。地名も土地勘も全くない中やっていたことをいま思うと凄いな～と思います。飛込営業では築50年位経っているお家から、新築のお家まで担当地区を毎日回るわけです。この中で私は当初、言葉は悪いですが、古い家やボロボロのお家に熱心に営業をかけていました。比較的新しいお家や綺麗にしているお家には挨拶程度にしか行かなかったのです。そして毎日ドヤサレ辛い毎日でした。ある日トップセールスの先輩に同行する機会を頂いて、一日見ていると、私と全く逆の営業なんです。比較的新しいお家や綺麗にしているお家を重点的に回っているんです。何故かと質問すると、「誰もが汚くて寒い家に住みたいとは思わない。しかし何らかの理由でそうしなければならない人もいます。綺麗にしている家はそうした理由が少なく常に、より良い生活を欲している人たちだからだ。綺麗にしているお家は、お家に対する意識が高いんだよ。」と教えてくれました。

その言葉を胸に6年間やってきましたが、なかなか素直になれず、知っている方もいるかもしれませんが3泊4日の地獄の特訓に行ったり色々な苦楽もありましたが、トータル23家族のお家のお手伝いが出来ました。

そして28歳の時に父親からの要請を受けて岡谷に戻り、小林インテリアに入社します。もともと私は18歳の時に家業は継ぎたくないと言ったことがありますが、弟もいましたし、長男に生まれたからって何故継がなきゃならないんだと思ってましたし、周りの友人からも「お前は就職活動とかしなくていいから楽だよな」と言われ反抗心みたいなものもありました。しかしその時初めて父親の会社に対する思い、地域の人たちに対する感謝の思いなどをじっくり聞くことになり、祖父の代から父親が受け継いだ時は、わたしの様な事を考える暇もなく兄弟力合わせてガムシャラにやってきたことを思い、今までこうした思いの中で自分を育ててくれて来たんだと思い継ぐ事を決意した事を思い出します。

うちの会社は大正3年に創業しまして今年で104年目になります。これもひとえに地域の皆様のおかげだと心より感謝いたしております。

弊社はもともと小林表具店と言いまして、掛け軸の表装や襖・障子の張替を生業としてきました。日本文化を側面から支えながら時代の流れと共に生活様式が変わってきますと、当社もインテリアと称し室内の内装工事専門業者として今日に至っております。お城とか行くと良くわかりますが、昔の建物は部屋と部屋の境がほとんど襖や障子なんですね。そこに当社の需要があったわけですが、住宅の洋式化が進むにつれて襖から壁になり、床は板張りから絨毯になり当社の技術もそうした方向に向けることによって地域の皆様のお役に立てているのかなと思います。

弊社の営業職は全員が必ず職人上がりで、技術に対するこだわりは強いと思っておりますが、ちょっと頑固すぎる場所もありますのでその辺をうまくバランス取れるようにしていきたいと思っております。

何年前かに社員歴40年の営業社員からある相談をされました。「お客さんから内装工事じ

やない工事の相談を受けたんだけどやってもいいですか」と。
その社員はその工事をやったことがなかったんです。でもその営業はお客さんに「専門外なんで専門業者に相談してください」と言うのは簡単ですが、長いお付き合いさせて頂いているお客さんの役に立ちたいと。その社員は60歳を前にして勉強し始めたんです。その専門業者さんに色々相談しながら、最終的にはお客さんにとても喜んでもらいました。その時改めて思ったことは、何事もやらなければ進まない。まずはやってみる、チャレンジすることが大事なんだと。

我が社の名刺の裏には「室内のことはすべておまかせ下さい」って入っているんです。社員が率先して実行してくれたことにとてもうれしくおもいました。

5年前に新潟の業者さんに宮坂製糸所さんの生糸を使って壁紙を作ってもらって、岡谷商工会議所の階段部分と講堂の正面の壁にシルクの壁紙を張らせてもらいました。シルクの壁紙は施工がとても繊細で難しいのですが、こういったものをどんどん発信していきたいと思います。また会議所行った際には見て頂ければと思います。

最後に弊社の基本理念が

・わが社はこの世の中に必要か否か

我が社の社会的存在価値は顧客のニーズに応えるところにある。

とあります。これからもこの世に、皆様に必要とされる様頑張っていきますので宜しくお願い致します。

なかなかの出来損ないの私ですが、多くの先輩から声を掛けて頂き、日々貴重な体験をさせて頂きながら、この度も岡谷ロータリークラブに入会させて頂き日々先輩方の大きな背中を見ながら成長させて頂きたいと思います。本日はありがとうございました。

ニコニコボックス

濱 俊弘 創業112年になります。長いだけが良いわけではないと思います。

小林大介 本日は、卓話よろしくお願い致します。

今井康善・牛山幸一・梅垣和彦・太田博久・大橋正明・小口 隆・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・笠原新太郎・北澤洋之介・片桐伸介・佐伯克己・薩摩 建・佐藤有司・瀬戸雅三・高木昭好・高木克彦・中嶋孝一・中村文明・濱 毅・林 尚孝・林裕彦・林 靖高・宮坂晃介・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎・山岡俊幸・吉村栄二 小林会員の卓話、楽しみにしております。

出席報告

会員数43名、出席者37名、出席率90.24%、前々回訂正84.62%

2018-2019

岡谷ロータリークラブテーマ

「共に前へ繋いで行こう」



2018-2019 年度RIテーマ

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

